

求精教育

QIU JING JIAO YU



新日语等级考试N1—N3**攻略**系列教程

JLPT

新题型

文法教程



主 编 李 哲

副主编 吴艳芳 栾江燕



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

求精教育
QIU JING JIAO YU



新日语等级考试N1—N3**攻略**系列教程

JLPT

新题型

文法教程

N2

■ 主 编 李 哲
■ 副主编 吴艳芳 栾江燕



WUHAN UNIVERSITY PRESS
武汉大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

JLPT 新题型文法教程. N2/李哲主编;吴艳芳,栾江燕副主编. —武汉:武汉大学出版社,2012.7

新日语等级考试 N1—N3 攻略系列教程

ISBN 978-7-307-09853-4

I. J… II. ①李… ②吴… ③栾… III. 日语—语法—水平考试—自学参考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 106979 号

责任编辑:谢群英 责任校对:王 建 版式设计:马 佳

出版发行:武汉大学出版社 (430072 武昌 珞珈山)

(电子邮件: cbs22@whu.edu.cn 网址: www.wdp.com.cn)

印刷:湖北恒泰印务有限公司

开本: 720 × 1000 1/16 印张:27 字数:412 千字 插页:1

版次: 2012 年 7 月第 1 版 2012 年 7 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-307-09853-4/H · 898 定价:40.00 元

版权所有,不得翻印;凡购我社的图书,如有质量问题,请与当地图书销售部门联系调换。

前言

JLPT(Japanese-Language Proficiency Test, 通称“日语等级能力考试”)是由日本国际交流基金会和日本国际教育协会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试。这项考试于2010年开始已经全面变革,不同于以往的题型、不同于以往的分数评定标准,再加上主办单位日本国际交流基金会宣布今后不再出相关的出题基准,这些都让考生比较困惑。为适应这一新的变化,本套《新日语等级考试 N1—N3 攻略系列教材》将会针对新等级能力考试进行强化训练。本套书针对 N1、N2、N3 三个级别,编撰语法篇为该套系列教材的重点部分,基于新等级考试的文法题型规定(见下表),《JLPT 新题型文法教程 N2》针对各类题型进行独到的讲解。为方便广大考生在短时间内学习并熟练掌握各类语法知识,《JLPT 新题型文法教程 N2》在参考历年真题和以往各类语法参考书籍的基础上,汇集了多位编者十多年的授课经验,使本语法教程具有如下特点:

試験科目			N1	N2	N3	N4	N5
言語知識 ・ 読解	文 法	文の文法 1 (文法形式の判断)	10 問	12 問	13 問	15 問	16 問
		文の文法 2 (文の組み立て)	5 問	5 問	5 問	5 問	5 問
		文章の文法	5 問	5 問	5 問	5 問	5 問

1. 语法条目排序严谨。与以往所有语法句型参考书籍不同,本书在语法条目编排上采用严谨的词性分类法,先以“词性”进行一级排序,按照考试重点由名词、动词等实义词到助词、助动词等无实义词进行分类,再将各个词类以“假名”顺序进行二级排序,同义句型则在各个词条中注明。由词性来划





分语法条目，其最大的优点在于能够通过语法的关键部分清晰地记住接续方法，而不出现记忆混乱。

2. 语法条目涵盖面广，收录了历年所有的语法真题。本书参照原二级考纲和历年真题，兼并复习 N3 的重点语法，总计收录句型 190 余条。

3. 首次收录代词、副词、接续词等词条，并与相关语法条目一起解释，专门针对新的文章语法题型，做到有的放矢。

4. 对每个语法条目均详细解释其出处和实际含义，尽量做到“一目了然、一通百通”。尤其针对新的语法排序题，能使考生在语法条目变形拆分后仍能准确判断原有含义，并迅速找到正确答案。

5. 按照日语“学校语法”和“教育语法”两大体系并行解释，本书所采用的语法术语不仅与市面上各类日语教材接轨，而且与专业的日语语法教程保持一致，有利于考生掌握系统的语法知识，进一步提升语法分析能力。

6. 紧跟时代潮流，大量选用最新的文章和例句。书中出现的例句和文章多为近年来新出的内容，与现实生活紧密相关，读者可以在学习过程中熟悉时事动向。

《JLPT 新题型文法教程》系列教材不仅大量采用了日语语法界最新学术研究成果，而且尽量做到简明易懂，对重难点句型均有独特的应对方法，旨在帮助学习者有的放矢、一通百通。本系列教材的主要使用对象是希望通过 JLPT 的学习者。由于 JLPT 改革在逐步向国际上的语言类考核试题看齐，故本系列教材也大量吸取了其他日语考试类的内容和方法，对 J-TEST、日语考研、日语专业四级、专业八级等各类日语相关考试也能起到一定的强化训练和参考作用，希望大家通过本系列教材的学习能够顺利通过考试。

由于水平有限，书中难免有不妥之处，敬请各位指教。

编者

2012 年 2 月

記号・略語表

説明用記号

、	文例、区例の区切り、また、語例の区切りなどを示す
。	主に、句点として分の終わりなどを示す
【 】	日本語の漢字や外来語の語源などを示す
⇒	注意すべきところなどを示す
☆	文法説明用のポイントを示す
▶	例を挙げる印
◇参考句型	同義語、類義語、対義語などで参考になることを示す
参考区別	同義語、類義語などで使い分けに注意すべきことを示す

品詞略語

名	名詞
代	代名詞
数	数詞
接尾	接尾辞
接頭	接頭辞
連体	連体詞
副	副詞
感	感嘆詞
形	形容詞
形動	形容動詞
他	他動詞
自	自動詞



五	五段活用動詞
上一	上一段活用動詞
下一	下一段活用動詞
力	力変活用動詞
サ	サ変活用動詞
格助	格助詞
係助	係助詞(提示助詞)
副助	副助詞
終助	終助詞
接助	接統助詞
慣	慣用語(慣用句)
連語	連合用語(複合用語)



各課の構成

各章の構成は下記のとおりです。また、過去問題を含めた各章の問題についての参考解答及び解析も本書の最後に添付しております。

第二章 以名词为主的句型

名词是指表示事物或人的具体名称的词……

まず、名詞としての本義を説明

1. あいだ[間]

◇ 本義

①直接続かない二つの点(物)の非連続部分をみたす空間・時間など。

▶ 木立の間から空をのぞく。

次はその名詞をもとにする文型を説明

◇ 文型

あいだ(は)、あいだに(は)

接続: 体言 + の、用言及び助動詞の連体形

意味: 前項が進行中の時間段の内、後項が発生という意味を表す。

時間間隔, 表示在前项事情发生的时间段内发生了后项事情。(略)

▶ 私は夏休みの間、都会の喧噪を離れ、ずっと故郷の実家で過ごした。

形式、接続、意味、例(5つ以上)、参考・区別。

参考句型: 時、場合、うち、ところ、際、に際して、に当たって

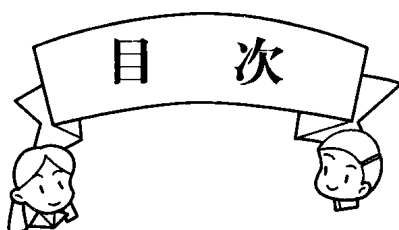
練習問題

問題Ⅰ 次の文の()に入れるのに最も良いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

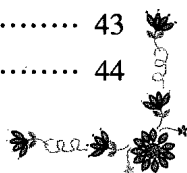
1 あそこも日本人旅行者が少ない_____行っておかないと、きっとすぐに開発されて日本人だらけになるだろう

1 さいに 2 あいだに 3 あいだは 4 ばあい

(略)



第一章 日语语法基础知识.....	1
品詞分類表.....	5
用言活用表.....	6
口語助動詞活用表.....	9
第二章 以名词为主的句型	11
1. あげく「挙げ句・挙句」.....	12
2. あまり「余り」.....	13
3. いじょう「以上」.....	14
4. いっぽう「一方」.....	15
5. うえ「上」.....	18
6. うち「内・中」.....	21
7. おそれ「恐れ・虞」.....	23
8. かぎり「限り」.....	24
9. かげ「蔭」.....	26
10. かわり「代わり」	27
11. きっかけ「切っ掛け」	29
12. くせ「癖」	30
13. けいき「契機」	31
14. こと「事」	32
15. さい「際」	41
16. さいちゅう「最中」	42
17. しだい「次第」	43
18. すえ「末」	44

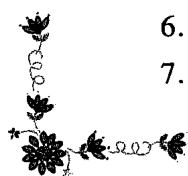


19. せい	45
20. そうい「相違」	46
21. たび「度」	47
22. ちがい「違い」	48
23. ちゅうしん「中心」	50
24. ついで「序で」	51
25. つもり「積り・心算」	52
26. とおり「通り」	53
27. ところ「所」	54
28. とたん「途端」	56
29. ぬき「抜き」	57
30. はじめ「始め」	58
31. べつ「別」	59
33. ほか「他・外」	60
34. もと「基・下・本」	63
35. もの「物」	65
36. よう「様」	71
37. わけ「訳」	73
38. わり「割り」	76
練習問題	78

第三章 以动词为主的句型..... 108

第1节 复合动词..... 108

1. うる・える「得る」	109
2. かえず「返す」	110
3. かける「掛ける」	111
4. かねる「兼ねる」	112
5. きる「切る」	113
6. きれる「切れる」	114
7. たつ「立つ」	114



8. たてる「立てる」	115
9. つく「付く」	116
10. つける「付ける」	116
11. とおす「通す」	117
12. とおる「通る」	117
13. なおす「直す」	117
14. ぬく「抜く」	118
第2节 补助动词	118
1. たまる「堪る」	119
2. なる「成る」	119
第3节 形式动词	120
1. あたる「当たる」	120
2. いう「言う」	121
3. おうじる「応じる」	127
4. おく「於く」	128
5. おもう「思う」	129
6. かかわる「関わる」	131
7. かぎる「限る」	133
8. かける「掛ける」	136
9. かまう「構う」	138
10. かわる「代わる」	138
11. きまる「決まる」	139
12. くわえる「加える」	140
13. こたえる「応える」	141
14. こめる「進める」	142
15. さいする「際する」	143
16. さきだつ「先立つ」	144
17. したがう「従う」	145
18. すぎる「過ぎる」	146
19. する「為る」	147



20. そう「沿う」	152
21. たいする「対する」	154
22. つうじる「通じる」	155
23. つく「就く」	156
24. つける「付ける」	158
25. つれる「連れる」	159
26. とう「問う」	160
27. とおす「通す」	161
28. ともなう「伴う」	162
29. はんする「反する」	163
30. みる「見る」	165
31. めぐる「巡る」	165
32. もとづく「基づく」	166
33. よる「因る・由る・拠る」	167
34. わたる「渡る」	169
文法練習	170

第四章 以副词为主的句型 206

第1节 以副词为主的句型 206

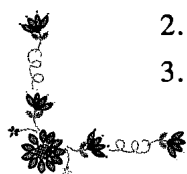
1. ともに「共に」 206
2. ともかく「兎も角」 207
3. もちろん「勿論」 207
4. もとより「固より」 208

第2节 重难点副词 210

文法練習 217

第五章 以助词为主的句型 231

1. 提示助詞「こそ」 232
2. 副助詞「さえ」 233
3. 副助詞「きり、っきり」 236



4. 副助詞「くらい、ぐらい」	237
5. 副助詞「ほど」	239
6. 副助詞「のみ」	241
7. 副助詞「だけ」	242
8. 副助詞「しか」	245
9. 副助詞「ばかり」	246
10. 副助詞「どころか、どころではない」	249
11. 副助詞「やら」	250
12. 副助詞「とか」	251
13. 副助詞「など、なんか、なんて」	252
14. 副助詞「って」	253
15. 接続助詞「から」	254
16. 接続助詞「て」	255
17. 接続助詞「でも」	257
18. 接続助詞「ば」	258
19. 接続助詞「つつ」	260
20. 接続助詞「ながら」	261
21. 接続助詞「ところ(が)」	264
22. 接続助詞「ところで」	264
23. 接続助詞「ものなら、もんなら」	265
24. 接続助詞「ものの」	266
25. 終助詞「もの、もん」	267
26. 終助詞「ものか、もんか」	267
27. 終助詞「こと」	268
28. 終助詞「つけ」	269
文法練習	270

目

第六章 以助动词为主的句型	299	录
1. 打消助動詞「ぬ(ん)」	299	
2. 打消助動詞「ず」	300	



3. 推量助動詞「う(よう)」	302
4. 推量助動詞「まい」	304
5. 推量助動詞「べし」	305
6. 比況助動詞「ようだ」	306
文法練習	307

第七章 以接尾辞为主的句型..... 323

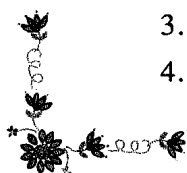
1. かぎり「限り」	323
2. がたい「難い」	324
3. がち「勝ち」	324
4. ぎみ「気味」	325
5. げ「気」	326
6. ごとに「毎に」	327
7. しだい「次第」	328
8. じょう「上」	329
9. だらけ	329
10. っこない	330
11. っぽい	330
12. ぬき「抜き」	331
13. むき「向き」	331
14. むけ「向け」	332
15. よう「様」	333

文法練習	334
------------	-----

第八章 敬语..... 350

第1节 敬语句型..... 350

1. お/ご「御」~なさる	350
2. お/ご「御」~になる	351
3. お/ご「御」~だ/で/の/です	351
4. お/ご「御」~くださる	352



5. ~(さ)せてくださる	353
6. ~ていらっしゃる、~でいらっしゃる、~ておられる	353
7. お/ご「御」~する/致す/申し上げる	354
8. お/ご「御」~できる	354
9. お/ご「御」~いただく	355
10. お/ご「御」~ねがう	356
11. ~(さ)せていただく	357
12. ~てまいる	360
13. ~ておる	361
14. ~でござる	361
15. ~うございます	362
第2节 敬语词汇表	362
文法練習	366
 第九章 接续词	 380
文法練習	383
 附录1 文型仮名索引	 397
 附录2 参考答案	 401
 参考文献	 416





第一章 日语语法基础知识

日语语法体系主要分为两大类，即“学校文法”和“教育文法”。“学校文法”主要是以日本人为主，日本的小学、初中、高中的国语课本均已该体系为准，分类比较严谨，逻辑性强，但术语过多，分类较为复杂，不宜初级阶段的学习。而“教育文法”主要是针对不以日语为母语的外国人，为教学方便只进行比较简单的分类，便于初级阶段的学习，比较容易入门，但是到中、高级阶段容易导致概念混淆，不方便有规则的记忆。

由于以上分类的原因，中国国内高校日语专业教育主要是以“学校文法”为主，代表性教材为《新编日语》（上海外语教育出版社）、《综合日语》（北京大学出版社），而社会的培训类课程多以“教育文法”为主，代表性教材为《中日交流标准日本语》（人民教育出版社），《大家的日语》（外语教学与研究出版社）。虽然两种体系的对象都是日语，但是术语称谓不同容易使学习者混淆，不利于统一，尤其是在中、高级阶段学习时，各类教材并无专门针对等级考试 N2 的内容，使学习者很难在市面上找到合适的衔接教材。针对这种情况，本书以“学校文法”为主，兼以“教育文法”为辅的方式，用比较简洁的语言逐一对应介绍两类语法体系的基本概念，方便读者对应理解和查阅。

一、关于有实义词和无实义词

日语属于粘着语，即句子的每一个成分都是由“粘着”某个词汇才能确定该部分在句中的含义和地位。例如：“私は3時に自転車で学校へ行



きます。”句中除“私、3時、自転車、学校、行”等有实际含义的词汇以外，还有“は、に、で、へ、ます”等以假名形态出现的无实际含义的词汇，这些无实际含义的词汇虽然不能单独构成句子，但是它粘接在有实际含义的词汇后面限定其在句中的成分，比如“は”连接在“私”之后，就决定了“私”是句子的主题，这部分无论放在句子的哪里都不会造成误解。

据此原理，可以大致将日语的词汇分为两大类，即：有实际含义的词汇(自立词)和无实际含义的词汇(附属词)。其中自立词包括名词、数词、代词、动词、形容词、副词等诸多类别，附属词只有两类，即助词和助动词。请参考本章的“品詞分類表”。

二、关于词形变化

日语属于有词形变化的语言体系，因此若要在上述有实义词和无实义词的基础上再次细分的话，就需要说到词形变化。日语中将词汇的形态变化称为“活用”，指的是动词、形容词等需要因使用场合不同而发生词尾变化。

按照词汇有无活用的特点，可以将无实际含义的词汇(附属词)分为两大类：有活用的为助动词，即需要根据情况灵活变形，例如：“です、ます、たい、ようだ”等；无活用的为助词，直接在句中使用，没有变形，例如：“は、が、よ、から、ぐらい”等。

有实际含义的词汇(自立词)按照有无活用大致可分为两类，在“学校文法”中，称无活用的词汇为“体言”，主要有名词、数词、代词；称有活用的词汇为“用言”(即含有可灵活使用之意)，主要有动词、形容词、形容动词，其中动词的词尾为“う段”假名，形容词的词尾为“い”，形容动词的词尾为“だ”(有的教材上称为第二类形容词或者ナ型形容词)。另外还包括副词、连体词、接续词、感叹词等。

根据以上分类方法可得知有活用的词汇主要有两类，即助动词(属于附属词)和用言(属于自立词)，所以在句型中的接续方法上大都是将这两类词汇同等对待。

